

## 地元農産物を食べましょう ～ 地産地消のススメ ～

### 地産地消のメリット

- ① 地元で採れるため、新鮮で栄養価の高いうちに食べることができる
- ② 生産者の「顔」が見えることで安心して食べることができる
- ③ 旬の食べ物が分かる
- ④ 地元の農産物の活性化につながる
- ⑤ 輸送距離が短いので、環境にやさしく輸送コストが抑えられる



### 今が旬の農産物

冬は葉物野菜が多く作られます。下にあるような旬の野菜は、栄養価が高く、うま味や甘味が増えています。地元で採れた旬の味を味わって寒い冬を健康に乗り切りましょう。



ホウレンソウ



コマツナ



チンゲンサイ



ダイコン

## 休日・夜間診療

内科・小児科＝川越市医師会夜間休日診療所(小仙波町2丁目53-1 ☎222-3330)

日曜日、祝・休日、年末年始の受付時間…午前9時～11時▶午後1時～3時▶午後8時～10時

月～土曜日の受付時間…午後8時～10時

歯科(急患のみ)＝予防歯科センター(三久保町18-3 ☎224-3891)

日曜日、祝・休日、年末年始の受付時間…午前9時～11時30分

## 1月の休日当番医

受付時間は、午前9時～午後4時です。受診前に当番医に確認してください。

1日(祝)	赤心堂病院(外、整外、内、産、婦)	脇田本町25-19	☎242-1181
2日(火)	本川越病院(内、整外)	中原町1丁目12-1	☎222-0533
3日(水)	池袋病院(内、小、整外)	笠幡3724-6	☎231-1552
7日(日)	南古谷病院(内、外)	久下戸110	☎235-7777
8日(祝)	川越胃腸病院(消)	仙波町2丁目9-2	☎225-6888
14日(日)	三森整形外科医院(整外)	三久保町6-4	☎222-0515
21日(日)	レディースクリニック小川医院(婦)	上戸296-2	☎233-0310
28日(日)	野村眼科医院(眼)	脇田町105アトレ1階118	☎222-7321



開催会場

- 1月の土曜開庁日 市民課 ☎224-5739 収税課 ☎224-5837  
13日(土)・27日(土)午前8時30分～正午。市民課(本庁舎1階)・収税課(本庁舎2階)・南連絡所。一部の業務は、取り扱いできません。

- ごみの祝日収集のお知らせ 収集管理課 ☎239-5058  
1月8日(祝)＝可燃ごみ(月・木コース)、その他プラスチック製容器包装(月コース)

川越市公式 SNS



人口と世帯数 平成29年12月1日現在

人口352,527人(男=176,525人、女=176,002人) 前月比-7人 世帯数156,026世帯 前月比+99世帯

## 広報川越1405

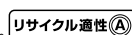
- 発行日/平成29年12月25日(毎月10日・25日発行)
- 発行/川越市 〒350-8601埼玉県川越市元町1丁目3-1 <http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>  
市役所代表 ☎049-224-8811 ☎049-225-2171
- 編集/広報室

「声の広報川越(CD)」 「点字広報川越」を作成しています。ご希望の方は、広報室までご相談ください。

☎224-5495 ☎225-2171

私的利用の範囲を除き、記事や写真の無断転載を禁じます。

この印刷物は、グリーン購入法に適合する紙を使用し、印刷用の紙へ、リサイクルできます。



Fontworks  
UD Font

皆さんは、「地産地消」という言葉を「存じですか。」「地産地消」とは地元で収穫された農産物などを、地元で消費することです。川越市は農業が盛んで、多くの野菜や果物、米などが地元の農産物として生産されていて、農産物直売所や庭先販売、スーパーの地場産コーナーなど、身近な場所で購入できます。

地元で生産された農産物は、地元の方々が育んできた地域の「宝」。地元農産物を食べましょう。

健康がむね推進プラン  
健康づくり支援課 ☎229-4121  
めざせ健康寿命日本一!